令和4年度 脇町地区地域福祉活動計画実行委員会 活動記録

(感染症予防を考慮しながら、一人ひとりが取り組めることを発信し、住み慣れた地域で安心した暮らしができる地域づくりを目指す)

活動の内容

取り組み **つながり(支えあい)**

〇小地域生活支援ネットワーク 情報交換会の開催



日 時 令和4年6月27日(月)

場 所 穴吹農村環境改善センター

参加者 小地域生活支援ネットワーク 22名

内 容 倉敷市社会福祉協議会活動事例報告 (講師: 倉敷市社会福祉協議会

主幹 松岡 武司氏》

●各種推進・紹介

第3次脇町地区地域福祉活動計画実行委員会

小地域生活支援ネットワーク活動

●グループワーク

~コロナ禍でも自分の地域の小ネットはこのように動いていた~

小ネット活動に役立つ情報の紹介や先進 地域の活動状況の発信などに取り組む。

える等の前向きなご意見を頂いた。

評価・今後の取り組みに向けて

新型コロナ感染症で活動が制限される中、

活動のヒントにとの思いを込めて、活発に活動 をされている倉敷市社会福祉協議会の報告を

参加者からは、コロナ禍でも工夫をし出来る ことから活動をする、活動の次のステップを考

していただいた。

そして、住み慣れた地域で安心した暮らし ができる地域づくりを目指したい。

平凡な人生と思ってる人が、輝いた人生に 変われる『終活のすすめ』の講話や情報交換 を中心に交流会を開催した。

今年度は、生活協同組合くらし助け合いの 会にも参加頂き、情報提供を受けた。また、実 行委員会の取組紹介も行い、活動に対するご 理解を頂いた。

グループワークでは、サロンの活動状況や 工夫している事についてなど意見交換を行 い、多くの参加者から参考になったとご意見を 頂いた。

今後も地域課題を共有できる機会として、基 調講演、グループワークの内容などテーマを 検討し継続的に開催していきたい。

立てて頂けるよう提供したい。

また、DVD編集が可能ならサロン活動に役

美馬市では、高齢化率が約40%と全国平均

今年度は、小ネット情報交換会、いきいきサ

ロン交流会の他にウォーキング大会でも啓発

を行い幅広い年代に周知したことで、いざとい

う時の為だけでなく、支え合い(つながり)への

約29%と比べ高い水準となっている。高齢者世

帯や独居世帯も増加の傾向にある。

〇ふれあい・いきいきサロン 交流会の開催





日 時 令和4年11月18日(金)

場 所 穴吹農村環境改善センター

参加者 18サロン住民26名 実行委員他18名 くらし助け合いの会9名

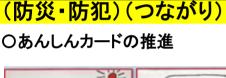
内 容 ●講話『終活のすすめ』 (講師:心理カウンセラー 松田 大亮氏)

●各種取組・紹介

・くらし助け合いの会 取組紹介

- · 脇町地区実行委員会取組紹介
- ●グループワーク・発表
 - ・サロンの活動状況について

 - サロンで工夫していること
 - ・意見交換 他





●より一層カード活用を高めるために、啓発チラシを作成 (救急車を呼ぶ「もしも…」の時、

災害時の安全と安心を守るために活用してほしい)

- ●関係者・関係機関と連携したカード啓発
 - 令和4年6月27日(月)小地域生活支援ネットワーク情報交換会
 - ・令和4年10月30日(日)脇みちを歩こう「ウォーキング大会」
 - ・令和4年11月18日(金)ふれあい・いきいきサロン交流会 ・他各種サロン・消防署や警察との情報共有で紹介

体調不良等で離れて暮らす家

族に連絡をとる時、備えておくと 安心で便利です。是非記入を!



意識づけにつながった。 今後も、防災・防犯、つながりの共通項目と

して、あんしんカードを要援護者に周知・啓 発・活用をしていく。また、お出かけ時などに 所持して頂ける様、ミニあんしんカードの作 成・啓発も行いたい。

多くの方にエコキャップ活動にご協力頂いて いる結果、前年度比2割増しのスピードで

購入できた車椅子は、社会福祉法人小星園

また、各団体などヘキャップ回収運動の説 明をすると共に、再度、協力依頼も行った。そ

の結果、美馬市全域で幅広く浸透しエコ活動

キャップが集まっている。

で活用いただくこととなった。

や福祉力向上に繋がっている。

(環境)

〇ペットボトルキャップ回収運動

●各団体ヘキャップ回収運動説明



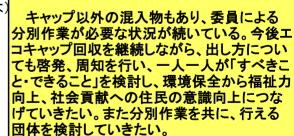
- ●啓発物(回収運動ポスター、分別協力依頼)の作成と周知
- ●集まったエコキャップの分別作業と換金
- ·1回目 令和4年7月20日(木)200kg ·2回目 令和4年12月15日(木)240kg





●車椅子贈呈式 令和4年5月19日(木)









※過去5年間 : 分別数量 2636.5kg

車椅子購入台数 5台

(健康)

〇脇みちを歩こう 「ウォーキング大会」の開催 (ノルディックウォークの啓発)





日 時 令和4年10月30日(日)

参加者 125名 (ボランティア参加者含む)

場 所 うだつアリーナから別所大楠







毎年恒例のウォーキング大会は、地域交流 の場(機会)として、子どもから高齢者まで世 代を超えて楽しめるイベントになっている。

今年は地域行事と重なり参加者が少なかっ たが、密を防ぎ間隔を空けてウォーキングを 楽しむことができた。また、トイレ提供の企業 等、多くのボランティアの協力で開催すること ができ、実行委員会の取り組みの周知を行 い、賛同を得ることができた。

今後も、健康習慣を推進するこ とで、健康寿命を延ばし、元気な 脇町を目指したい。

またコロナ終息後は、より一 参加者を増やしていきたい。

